

北海道サイクルルート連携協議会アドバイザー会議 設立趣旨

我が国では健康志向、環境意識の高まり等により自転車保有台数は増加を続け、特に近年ではロードバイクなどのスポーツ車の利用が増加している。平成28年12月には自転車活用推進法が成立し、自転車を取り巻く機運が高まっているほか、平成28年3月に閣議決定された「北海道総合開発計画」では、北海道においてアジアの中でも特徴的で魅力的な観光資源を活かしながら「世界水準の観光地」を目指すこととしている。

近年では道内各地において自転車を活用した各種イベント等も多く実施されているが、国内外から訪れるサイクリストは、北海道のロングライドや景観、食等に魅力を感じている一方、休憩等の施設や道路案内、輪行などに不満を感じていることも多く、北海道を「世界水準」のサイクリング環境に高めていくためには、関係者が連携して取り組んでいく必要がある。

ついては、北海道におけるサイクルツーリズムを推進するために、先進地域の取組等も踏まえつつ、自転車の走行環境、受入環境の改善・充実を図るための方策や、サイクリストも参画した効果的な情報発信の方策、持続的に取り組みを進めるための体制や役割分担などについて、先進的なサイクルツーリズム環境の実現に向け、広範な助言をいただくため、「北海道サイクルルート連携協議会アドバイザー会議」を開催するものである。

なお、検討委員会の事務局は、国土交通省北海道開発局並びに北海道に置くこととする。